

立志だより



立志・自主・勤勉

与那原町立与那原中学校
校長 垣花英正

福祉講話

10月26日(火)、与那原町社会福祉協議会の大濱咲子氏を講師にお招きし、「福祉って何だろう」をテーマに、1学年の福祉講話が行われました。

「福祉」というと「介護」を連想する傾向があるということで、福祉全般について理解を深めることと、身近にある福祉について知ることができるようなお話でした。

目が不自由な方が料理をしたり、車椅子の方が足でドアを開ける動画の視聴もあり、驚きや感心の声が上がっていました。

生徒の感想を掲載します。

1年1組 吉門さん

今までは、福祉とは介護のことだと思っていたけど、今日の講話を聞いて、誰かを思いやり、助け合うことだと分かりました。障害者の人も自分で考えたり、周りの人に助けってもらったりして生活をしていると気づきました。また、自分も一人では生きていけなく周りの人に支えられて生活していると気づくことができたので良かったです。自分も、困っている人がいたら助けたいと思います。これからは、自分や周りの人にとって、幸せになるような町をみんなで作っていきたいと思いました。

1年6組 山内さん

今日は、福祉のことについて学びました。小学生の頃までは福祉士の仕事は高齢者の生活を支える仕事と思っていたけど、福祉は、誰かを思いやり、助け合うことで「普段の暮らしの幸せ」を実現させるもので、特別な人だけを支えるのではなく、誰だって幸せに生きる権利はあるし、誰だって一人で幸せになれる人はいないから、助け合っこそ福祉と分かりました。



一人一授業

11月2日(火)、外間理恵先生が1年5組で美術の授業を公開しました。「先生を4色で表現しよう」がめあてです。

表現したい先生を一人決めたら、そのイメージを思い浮かべて色を考え、タブレットのアプリを使ってイメージに合った配色をします。完成したら、他の生徒と鑑賞し合い、どの先生をイメージしたものか当て合いました。

イメージを色だけで表現することの楽しさと難しさを体験した授業でした。



教育センター協同研究公開授業

以前にもお知らせしましたが、本校は県立教育センターのIT班との研究協力校となっています。その取組の一環として、11月4日(木)、中澤明子先生が3年1組で社会科の授業を公開しました。この授業には、県立教育センターIT班の指導主事、県義務教育課の指導主事も参加しました。

めあては「政治に関心を持って、選挙に参加する方法を考えよう」です。タブレットを効果的に活用し、自分の考えを打ち込んだり、他者の考えに触れたりしながら意見交流を行いました。

指導主事からは、「全生徒が能動的に授業に参加している」「ICTの活用について、県の最先端を行っている」などとお褒めの言葉をいただきました。

なお、この授業の様子は、県内の学校に配信される予定です。

